

30
周年記念

国登録有形文化財 堺市茶室

伸庵 で講演会

7月26日(土)

演題: 信長初めての茶会

講師: つば市製茶本舗 代表取締役 谷本順一氏

堺の大茶人、津田宗及が書いた天正元年十一月二三日の茶会記から信長が茶会と堺町衆をどのように利用したかその意図を読み解きます。

7月27日(日)

演題: 茶室でまなぶわびとさび

講師: 堺市博物館学芸員 矢内一磨氏

わびさび。わびとさびを同じ意味にとりがちです。しかし、陰と陽、剛と柔のようにわびとさびは、別のもので。ここでは、わびとさびの違いについて、時間の概念をキーワードに説明します。茶室という空間で、もう一度わびとさびについて、考えてみませんか。また、わびとさびがでてきた時代背景についても取り上げていきます。

両日共通情報

日 時: 13時30分～15時

場 所: 堺市茶室「伸庵」(大仙公園内)

参加費: 1,000円

募集人数: 各日約25名

2025年

7月26日(土)・27日(日)

伸庵は、数寄屋普請の名匠と言われた仰木魯堂が粋をこらして昭和四年に建てた茶室です。
昭和五十五年に福助株式会社から寄贈され、移築されました。
この度は貴重なお茶室で講演会を開催します。

7月26日(土)講師 谷本 順一氏

(株)つば市製茶本舗 代表取締役

1850年(嘉永三年)創業 170年以上の歴史を持つ老舗「つば市製茶本舗」5代目当主。老舗の味を守りつつ、新しいお茶の楽しみ方を提案し、堺市に茶畑を作り新茶づくりを体験できるイベントを開催したり、一方で茶道史に残る偉大な山上宗二の検証する「堺衆文化の会」会長、「(一社)つば市」代表理事でもある。



7月27日(日)講師 矢内一磨氏

同志社大学文学部講師 堺市博物館学芸員

1964(昭和39)年、兵庫県たつの市に生まれる。1991(平成3)年、堺市に学芸員として就職。1992(平成4)年同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻博士課程(後期)研究指導修了、2011(平成23)年同志社大学より博士(文化史学)授与、同年全国大学国語国文学会学会賞受賞。専門分野 日本文化史 とくに中世・近世の寺院社会史・文化史を中心に、堺をフィールドにした研究を行っている。
主要著書 『一休派の結衆と史的展開の研究』(単著、思文閣出版、2010年) 『中世・近世堺地域史料の研究』(単著、和泉書院、2017年)



お申し込み方法

ホームページか、メール、LINE のいずれかで
お申し込みください。

ホームページ: QR コードのリンク先である講演会専用ページからお申し込みください。https://sakai-kanbora.org/



LINE: 左のQRコードをスキャンして、お友だちになってください。堺観光に役立つ最新情報をお届けします。

メール: sakaikvk@axel.ocn.ne.jp

※人数に限りがあります。お早めにお申し込みください。

複数の方と一緒に申し込みの場合は、代表者のお名前・連絡のつく電話番号・メールアドレス・大人の人数・中学生以下人数をお伝え願います。

ご不明な点があれば、お電話にてお問い合わせください。TEL: 072-233-0531



NPO 法人 堺観光ボランティア協会「講演会」係

〒590-0078 堺市堺区南瓦町 2-1 堺市民活動サポートセンター内

主催: NPO法人堺観光ボランティア協会